

物件管理システム

RIK物件管理システムから作成したPDFファイルが開かない

Windowsの更新後、PDFファイルをダブルクリックしても開かない場合があります。

その場合の対処方法です。

1. まずPCを再起動します。
2. 起動完了後、デスクトップにあるAcrobat Reader DCのアイコンをダブルクリックで開きます。
デスクトップにアイコンがない場合スタートメニューより開きます。



3. メニューバー編集より環境設定をクリックします。

物件管理システム

編集		表示(V)	ウィンドウ(W)	ヘルプ(H)
	元に戻す(U)			Ctrl+Z
	やり直し(R)			Shift+Ctrl+Z
<hr/>				
	切り取り(D)			Ctrl+X
	コピー(C)			Ctrl+C
	貼り付け(P)			Ctrl+V
	削除(D)			
<hr/>				
	すべてを選択(L)			Ctrl+A
	選択を解除(E)			Shift+Ctrl+A
<hr/>				
	ファイルをクリップボードにコピー(B)			
<hr/>				
	スナップショット(A)			
<hr/>				
	スペルチェック(K)			▶
<hr/>				
	簡易検索(E)			Ctrl+F
	高度な検索(V)			Shift+Ctrl+F
<hr/>				
	保護(I)			▶
	アクセシビリティ(Y)			▶
<hr/>				
	ツールを管理(M)			
	環境設定(N)...			Ctrl+K

4. 分類項目よりセキュリティ（拡張）を選択します。

物件管理システム

環境設定

分類(G):

- フルスクリーンモード
- ページ表示
- 一般
- 注釈
- 文書

- 3Dとマルチメディア
- JavaScript
- アクセシビリティ
- アドビオンラインサービス
- インターネット
- スペルチェック
- セキュリティ
- セキュリティ (拡張)**
- トッカー
- フォーム
- マルチメディア (従来形式)
- マルチメディアの信頼性 (従来形式)
- ものさし (2D)
- ものさし (3D)
- ものさし (地図情報)
- ユーザー情報
- レビュー
- 検索
- 言語
- 署名
- 信頼性管理マネージャー
- 単位
- 電子メールアカウント
- 読み上げ

5. サンドボックスによる保護の起動時に保護モードを有効にするのチェックを外します。

物件管理システム

×

サンドボックスによる保護

起動時に保護モードを有効にする(M) AppContainer (ベータ版) で実行(U)

保護されたビュア オフ(O)
 安全でない可能性のある場所からのファイル(P)
 すべてのファイル(A)

拡張セキュリティ

拡張セキュリティを有効にする(E) クロスドメインログファイル(G) [表示\(M\)](#)

セキュリティ特権の場所

セキュリティ設定によってワークフローに悪影響が生じる場合は、「セキュリティ特権の場所」を使用して、信頼する特定のファイル、フォルダーおよびホストを選択し、セキュリティ設定の制限を無視することができます。「セキュリティ特権の場所」を使用すると、作業の安全を確保したまま、ワークフローの項目に信頼を付与できます。

有効な証明書を持つ文書を自動的に信頼する(U)

Win OS セキュリティゾーンのサイトを自動的に信頼する(S) [Windows 信頼済みサイトを表示\(M\)](#)

[ファイルを追加\(I\)](#) [フォルダーのパスを追加\(D\)](#) [ホストを追加\(H\)](#) [削除\(R\)](#)

[保護されたビュアとは？](#) [拡張セキュリティとは？](#) [セキュリティ特権の場所とは？](#)

[OK](#) [キャンセル](#)

6. 続行の確認が出ますので「はい」で進みます。

7. OKボタンで閉じて、PDFファイルの起動確認を行います。

一意的なソリューション ID: #1835

製作者: ヘルプデスク

最終更新: 2017-12-05 13:16